

4:1 民全員がヨルダン川を渡り終えると、
【主】はヨシュアに告げられた。

4:2 「民の中から部族ごとに一人ずつ十二人を取り、

4:3 その者たちに命じよ。『ヨルダン川の真ん中、祭司たちが足をしっかりとどめたその場所から十二の石を取り、それらを携えて渡り、あなたがたが今夜泊まる宿営地に据えよ。』」

4:4 そこでヨシュアは、イスラエルの子らの中から部族ごとに一人ずつ、あらかじめ任命しておいた十二人を呼び出した。

4:5 ヨシュアは彼らに言った。「あなたがたの神、【主】の箱の前、ヨルダン川の真ん中へ渡って行き、イスラエルの子らの部族の数に合わせて各自が石を一つ、その肩に担ぎなさい。

4:6 それがあなたがたの中で、しるしとなるようにするためだ。後になって、あなたがたの子どもたちが『この石はどういうものなのですか』と尋ねたとき、

4:7 あなたがたは彼らにこう言いなさい。

『ヨルダン川の水が【主】の契約の箱の前でせき止められたのだ。箱がヨルダン川を渡るとき、ヨルダン川の水はせき止められた。この石はイスラエルの子らにとって永久に記念となるのだ。』」

4:8 イスラエルの子らはヨシュアが命じたとおりにした。【主】がヨシュアに告げられたとおりに、イスラエルの部族の数に合わせて、ヨルダン川の真ん中から十二の石を取り、宿営地に携えて行って、そこに据えた。

4:9 これらの十二の石はヨルダン川の真ん中

で、契約の箱を担いだ祭司たちが足をとどめた場所にあったもので、ヨシュアがそれらを積み上げたのである。それらは今日までそこにある。

4:10 箱を担ぐ祭司たちは、民に告げるように【主】がヨシュアに命じられたことがすべて終わるまで、ヨルダン川の真ん中に立ち続けていた。すべてモーセがヨシュアに命じたとおりにである。その間に民は急いで渡った。

4:11 民全員が渡り終えた後、民が見ている前で【主】の箱と祭司たちが渡った。

4:12 ルベン人とガド人と、マナセの半部族は、モーセが彼らに告げたとおり、隊列を組んでイスラエルの子らの先頭を進んで行った。

4:13 このようにして、武装した約四万の軍勢は【主】の前を、戦いのためにエリコの草原へと進んで行った。

4:14 その日、【主】は全イスラエルの目の前で、ヨシュアを大いなる者とされた。それで彼らは、モーセを恐れたように、ヨシュアをその一生の間、恐れた。

川の中の石は丸くなっていて、他とは違う特徴があります。背負うほどの大きな石が12個も積まれていれば、目立つでしょう。それば川の中から拾わなくてはならないのですから、川がせき止められるという奇蹟がなければ不可能なことです。主はこのような記念の石によって、主のみわぎを記憶させました。

私たちにとっても、主のみわぎを記念することは大切です。それは奇蹟のように、人間ではできないことであり、主の主権と愛の表れです。救い、きよめ、成長、勝利などの主の恵をみわぎを忘れないようにしましょう。

「武装した約四万の軍勢が…進んで行った。」とあります。前進もまた戦いなのです。困難が待ち受けていることですが、民がひるまなかったのは、主が川を分けてこの道を作ってくださったという確信によるものです。

主のみわぎを忘れずに、感謝することは前進の力であり、勝利への確信です。主への感謝を行いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？

